

備前市 事務事業評価表

事務事業名	し尿処理施設維持管理事業（日生）	コード	01-01-15-02
		担当課・係	市民福祉課 環境衛生係
		担当者	原田 尚美
事業実施期間	昭和46年度～	電話	72-1104
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり	
	中項目(基本施策)	生活しやすいまちづくり	
	小項目(施策)	し尿処理	

事業について	
目的 (何のために)	し尿を効率的に処理することにより、生活環境の保全につなげる。
対象 (誰・何を対象に)	市内のし尿・浄化槽の汚泥処理が必要な日生地域の市民・市内事業者。
内容	許可業者によるし尿の収集運搬の指示。汲み取りに係る地域間の料金格差解消のための交通費の支払。

事業の結果			
実施項目	17年度	18年度	
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
し尿処理量	272.0 kl	182.0 kl	
浄化槽汚泥処理量	49.0 kl	100.4 kl	
	321.0 kl	282.4 kl	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	84	国庫補助金等		直接事業費	72	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	475	受益者負担		人件費	280	受益者負担		人件費		受益者負担	
		市債				市債				市債		
合計	559	一般財源等	559	合計	352	一般財源等	352	合計	0	一般財源等	0	

必要人員	0.05	人	0.05	人
結果指標名	し尿処理量等		し尿処理量等	
結果指標量	321		282	
単位	kl		kl	
対前年比	-		87.98%	
活動にかかるコスト	559,000	円	352,000	円
単位当たりコスト	1,741	円	1,248	円
結果指標名	交通費(フェリー借上げ料)		交通費(フェリー借上げ料)	
結果指標量	8		7	
単位	回数		回数	
対前年比	-		87.50%	
活動にかかるコスト	559,000	円	352,000	円
単位当たりコスト	69,875	円	50,286	円

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	地域間の料金格差解消		
成果指標名	交通費補助	式又は説明	し尿処理汲み取り回数(量)に応じてフェリー借上げ料を市が負担
	17年度	18年度	
成果指標量	84,000	72,000	
対前年比	-	85.71%	0.00%
到達目標値	交通費補助の削減	到達目標年度	毎年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等：	妥当性評価<A~E> C
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	関係法令等に基づき、許可業者による適正で効率的に処理を行っている。
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> C
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	本土地域については、下水道整備が完了しているが、諸島部について、多額の交通費が必要である。
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> C	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	地域間の料金格差を解消するため、諸島部への交通費を負担しており、合併浄化槽の設置が進めば負担が軽減される。
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度状況		説明 現時点では難しい。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している		
目標値	結果指標量 282kl	結果指標量
	成果指標量 72,000円	

総合評価	し尿・浄化槽汚泥の収集・処理量は減少傾向にあるものの、諸島地区への交通費補助は継続する必要がある。	評価区分 <A~E> C
------	---	-----------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	---	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果